



インタビュー まさきすき♡

おもちゃコンサルタント
萩原知子さん



【プロフィール】

おもちゃコンサルタント、キットバスアートインストラクターの資格を生かして子育て支援活動をしている。港区在住。11歳男子を子育て中。



キッチンそばで遊べるよう考案した冷蔵庫に磁石でくっつく木のおもちゃ「コロロのおうち」

「おもちゃコンサルタントって、おもちゃと遊びの力で社会に笑顔を増やす活動をしている人のことって、東京おもちゃ美術館を運営する芸術と遊び創造協会による資格です。私は半年間通学しておもちゃの歴史や日本や海外のおもちゃなどを幅広く学びました。」

「息子1歳の時に港北区に引っ越してきました。息子はお母さんっ子で親子だけで遊ぶのが好きなタイプでしたが、なにかつながらを作らなきゃと思いました。子どもが幼稚園の時に近所の方に誘われて親子サロンを開催する側になりました。誘っていた方がおもちゃコンサルタントでした。おもちゃコンサルタントの先輩には面白い人が多く、自宅で親子サロンをやっていたり、ドイツのおもちゃを勉強して自宅に玩具屋さんも開いていたり、とてもパワフルで魅力的で自分もやりたいことを形にして輝いて見えました。私も少しでもそんなふうになれたら、そんな方々とつと出会えたらいいな、資格を取ろうかと思いました。」

「自分の子育ての役に立ちましたか？」

「息子自身の考えや好きなものをおもちゃを通して知りました。また、息子はけん玉が得意で、けん玉の資格を取るときも大人もいる中で子どもながら上手くなっているのが自信につながりました。集中力も育ち、できないことに立ち向かっていく気持ちも育まれたとおもいます。」

「電動糸鋸で木のおもちゃを作っているのですよね」

「子育てをしながら「自分は何が好きなんだろ」と自問自答している時間がありました。何をしたら自分の気分転換になるのかと考えるうちに、自分は満足するまでつくるのが好きなのだとわかりました。」

「息子が小さい頃に初めて作ったのが「むしくんパズル」という木のおもちゃです。自分なりに遊び方が多様になるように考えて作りましたが、実際に子ども達に遊んでもらうと私の考えた遊び方は全く違う面白い遊び方をしてくれました。しかも短い時間でどんどん遊びが発展していった。作り手からしたら、こんなに嬉しいことはなかったです。」

「これから取り組んでみたいことは？」

「言葉で話す交流にハードルの高さを覚える人もいます。おもちゃを介して共にいられる場があればいいですね。また「つくろ」で自分の心が整理できます。ひたすら工作できる場所もいつか作りたいです。」

季節と暮らそう 冬のお届け便

「横浜市子ども植物園」より、季節の植物を紹介します。



種から育てよう
ノースポール

花の少ない寒い時期から白い小花を春までたくさん咲かせる、南欧や北アフリカ原産のキク科の植物です。丈夫で育てやすく寒さに強い半面、高温多湿に弱く日本では1年草として扱います。発芽適温は15℃から20℃、早春から花を楽しむには、秋10月に播きます。横浜ですと5月頃からの開花となる2月下旬の春まきも可能ですので、これからチャレンジしてみたいかがでしょう。スタートはポット播きにして、本葉が4~5枚出て根が回ったらプランターや花壇に定植すれば確実です。発芽に光が必要ですから、覆土はしないかやや隠れる程度にします。水はけ、日当たり、風通しのよい場所が生育適地です。発芽から2か月ほどでつぼみが着きますので、咲き出したら花からはまめに摘み取って長く楽しみましょう。

(緑の相談員・速水善浩)

【問い合わせ】 横浜市子ども植物園 入園無料
南区六ツ川13-122 ☎045-741-1015 開園時間9:00~16:30

*園内で開催している子ども向けイベントをベイ★キッズLINEでお知らせ。LINE登録は4面を見てください。

身近でできるSDGs

このコーナーではSDGsの17の目標に向けて身近にできることを紹介していきます。今回は森を守る取り組みを紹介します。



森のつみ木広場

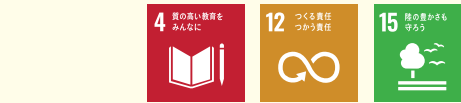
森は二酸化炭素を吸って酸素を作ったり、水をきれいにしたり、海に栄養を送ったり、木材をはじめさまざまな資源や食料を作り出しています。日本の森が健全な状態で維持管理されるための取り組みの一つとして、環境保全に取り組む公益財団法人オイスカの「森のつみ木広場」という取り組みがあります。

詳しくはコチラ→

森はこうして育ちます

- 植林**
苗木を植えます。鹿などに食べられないように注意します。
- 下草刈り**
苗が大きくなるよう雑草を切ります。
- 間伐**
苗が大きくなってきたら育ちのよい木を残して残りの木を切ります。こうすることで森に光が入り元気な森がつかれます。

切った木は間伐材と呼ばれ、家具や燃料などに有効利用されます。
つみ木広場のつみ木はこの間伐材から作られています。



つみ木遊びをととして、木の香りやぬくもりなど普段感じることの少ない自然を感じる機会を提供し、日本の森のことを伝える環境教育を行うことで、森林整備や環境保全に興味を持つ人を増やしていくことを目的に実施されています。



横浜周辺で「森のつみ木広場」を出前開催しています
◆山崎誠政策研究所
戸塚区戸塚町121 大川原ビル2F 045-438-9696
info-yamazaki@j05.itscom.net

パパと遊ぼう!

よこはまこどもカレッジの「名物せんせい」
バスケットボールコーチ編

プロアスリート
武井修志 先生
早稲田大学卒業後プロ選手としてプレイ。日本はもちろん、アメリカ、フランス、ペルー、ドイツ、ロシア、メキシコ、台湾、中国など世界中の大会やリーグでプレイでの経験がある。現在もプロアスリートとして活動中。

子ども達に様々な体験を提供している「よこはまこどもカレッジ」。子どもたちを指導してくれている個性豊かな先生を紹介します。



横浜のパパが発信!
パパが子育てを楽しむためのコーナーです。



Q.お父さん、お母さんに伝えたいことは何ですか？

子ども達にとって、良かったプレイを一番に伝えたい、一緒に喜びたいのはいつだってお母さん、お父さんです。失敗をとがめるのではなく、チャレンジした姿勢を認めて、一緒に喜んであげて欲しいです。バスケのルールと同様に、いつでも加点方式でいていただきたいですね。

Q.バスケットボールを始めたきっかけは？

小学校3年生の時に1歳上の兄がバスケ教室に通うことになり、ついでにあなたもということでバスケが何かも分からないまま始めました(笑)。最初は好きでも嫌いでもなくといったところでしたが、6年生の頃から「もっと上手になりたい」と思い、急激に取り組むようになりました。今では大好きですし、年々より好きになっています!

Q.バスケットボールを通して子どもに伝えたいことは何ですか？

1つはリングに向かってシュートして、決められた時の喜びです。ゴールは、シュートを打つというチャレンジをしなければ決められません。怖がらずにチャレンジすることの大切さを感じて欲しいです。もう1つは、個人とチームワークのパワーバランスです。チームスポーツであり対人スポーツのバスケットボールですが、誰かに頼るだけでもダメですし、自分1人だけでもうまくいきません。そのよりよいバランスを学ぶのに、とても良い教材だと思っています。



「よこはまこどもカレッジ」公式HP